

イーストスプリング
 US投資適格債ファンド・
 為替ヘッジ付
 (毎月決算型) / (年2回決算型)
 【愛称：USAボンド毎月/USAボンド】

追加型投信/海外/債券

作成対象期間 2024年10月22日～2025年4月21日

(毎月決算型)

第102期 2024年11月21日決算 第105期 2025年2月21日決算
 第103期 2024年12月23日決算 第106期 2025年3月21日決算
 第104期 2025年1月21日決算 第107期 2025年4月21日決算

(年2回決算型)

第18期 2025年4月21日決算

(毎月決算型)

日経新聞掲載名：USAボンド

第107期末(2025年4月21日)	
基準価額	8,347円
純資産総額	70百万円
第102期～第107期	
騰落率	△ 3.4%
分配金(税込み)合計	60円

(年2回決算型)

日経新聞掲載名：USAボンド

第18期末(2025年4月21日)	
基準価額	9,187円
純資産総額	15,508百万円
第18期	
騰落率	△ 3.5%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米ドル建ての債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

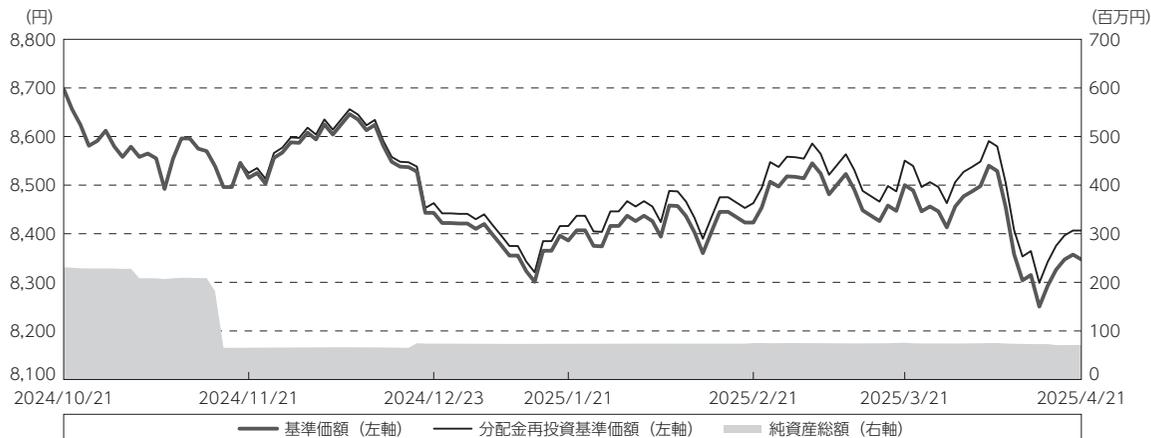
ホームページにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒ファンド名を選択⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

(毎月決算型)

基準価額等の推移について

(2024年10月22日～2025年4月21日)



第102期首：8,698円

第107期末：8,347円 (既払分配金(税込み):60円)

騰落率：△3.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2024年10月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

- ・米国投資適格社債の価格が下落(利回りは上昇)したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2024年10月22日～2025年4月21日)

項 目	第102期～第107期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	29	0.346	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(9)	(0.110)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(19)	(0.219)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.048	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.009)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(3)	(0.038)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合 計	33	0.394	
作成期間の平均基準価額は、8,496円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

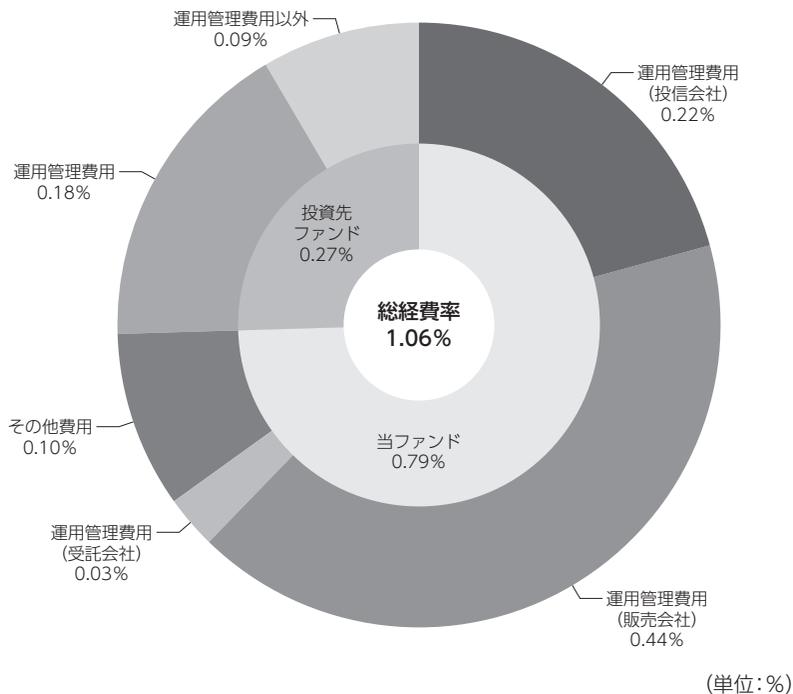
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.06%です。



総経費率(①+②+③)	1.06
①当ファンドの費用の比率	0.79
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.18
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

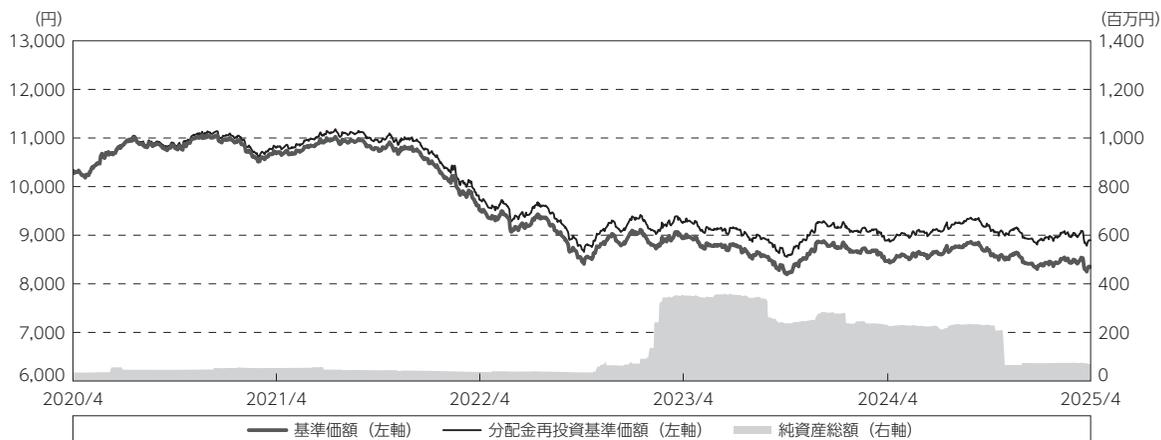
(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドでは、監査費用等がかかる場合がありますが、上記の「運用管理費用以外」には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2020年4月21日～2025年4月21日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2020年4月21日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年4月21日 決算日	2021年4月21日 決算日	2022年4月21日 決算日	2023年4月21日 決算日	2024年4月22日 決算日	2025年4月21日 決算日
基準価額 (円)	10,316	10,681	9,509	8,953	8,467	8,347
期間分配金合計(税込み) (円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.7	△ 10.0	△ 4.6	△ 4.1	△ 0.0
純資産総額 (百万円)	35	53	36	354	231	70

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

運用経過

(年2回決算型)

基準価額等の推移について

(2024年10月22日～2025年4月21日)



期 首：9,517円

期 末：9,187円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 3.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年10月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

- ・米国投資適格社債の価格が下落(利回りは上昇)したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2024年10月22日～2025年4月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	32	0.346	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(10)	(0.110)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.219)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(1)	(0.006)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合 計	33	0.360	
期中の平均基準価額は、9,317円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

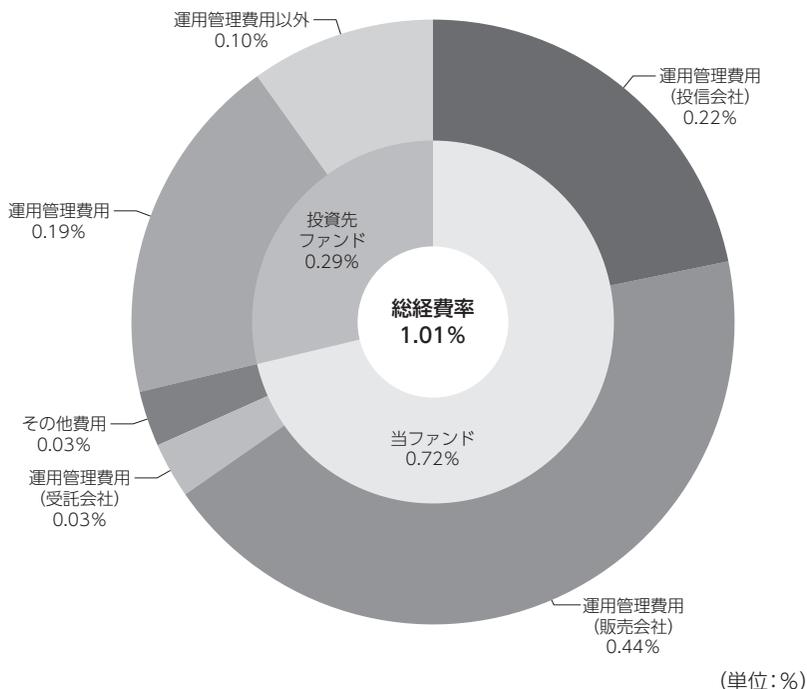
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.01%です。



総経費率(①+②+③)	1.01
①当ファンドの費用の比率	0.72
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.19
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドでは、監査費用等がかかる場合がありますが、上記の「運用管理費用以外」には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2020年4月21日～2025年4月21日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2020年4月21日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年4月21日 決算日	2021年4月21日 決算日	2022年4月21日 決算日	2023年4月21日 決算日	2024年4月22日 決算日	2025年4月21日 決算日
基準価額 (円)	10,708	11,183	10,016	9,571	9,180	9,187
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.4	△ 10.4	△ 4.4	△ 4.1	0.1
純資産総額 (百万円)	77	862	2,371	6,128	10,181	15,508

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

米国債券市場

当（作成）期、米国投資適格社債の価格は下落（利回りは上昇）しました。

当（作成）期初から2025年1月半ばにかけて、次期トランプ政権の関税政策や財政政策によりインフレ加速や財政悪化が懸念されたことや、2024年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）がタカ派的な内容となり市場の利下げ期待が後退したことなどにより米国債利回りは上昇しました。2025年1月後半から、軟調な経済指標やトランプ米大統領の関税政策をめぐる発言、テック株を中心とした米国株急落を受けて、米国債利回りは低下に転じました。3月以降はトランプ米大統領の関税政策に関する報道などに左右され、米国債利回りは大きく上下し、前（作成）期末比では上昇しました。米国投資適格社債の対国債スプレッドは、当（作成）期初から狭い水準で推移しましたが、2025年2月後半から、米国の関税引き上げ、移民政策、政府部門の人員削減などにより米国の経済成長の持続性が疑問視されるようになり、拡大しました。

国内債券市場

当（作成）期の日本国債利回りは上昇しました。日銀の利上げをめぐる思惑により、日本国債利回りは当（作成）期初から徐々に上昇しました。2025年1月に日銀が利上げを行いました。市場の追加利上げへの思惑から、日本国債利回りはその後も上昇し続けました。4月には米トランプ政権の関税政策により市場がリスクオフとなり、日本国債利回りは米国債利回りと連動して低下し、上昇幅を縮小させました。

ポートフォリオについて

イーストスプリングUS投資適格債ファンド・為替ヘッジ付（毎月決算型）／（年2回決算型）

主要な投資対象の一つである「イーストスプリング・インベストメンツ - US インベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラス J」JDM (hedged)」（以下「US IGボンド・ファンド」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

US IGボンド・ファンド

主として、米国の債券市場において発行されたBBB-相当以上の米ドル建ての投資適格債券に投資を行いました。原則として米ドル建ての資産について対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。銘柄別では、当（作成）期は、政府債、ヘルスケア会社、銀行などが発行する債券の保有がプラスとなった一方で、金融サービス会社、メディア会社、エネルギー会社などが発行する債券の保有はマイナス要因となりました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(毎月決算型)

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	2024年10月22日～ 2024年11月21日	2024年11月22日～ 2024年12月23日	2024年12月24日～ 2025年1月21日	2025年1月22日～ 2025年2月21日	2025年2月22日～ 2025年3月21日	2025年3月22日～ 2025年4月21日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率)	0.117%	0.118%	0.119%	0.119%	0.118%	0.120%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,015	2,028	2,044	2,063	2,081	2,097

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) —印は該当がないことを示しています。

(年2回決算型)

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第18期
	2024年10月22日～ 2025年4月21日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,568

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

イーストスプリングUS投資適格債ファンド・為替ヘッジ付（毎月決算型）／（年2回決算型）

主要な投資対象の一つであるUSIGボンド・ファンドの組入比率を高位に保つことを基本とします。

USIGボンド・ファンド

米国の各種政策（関税政策、移民政策、政府部門人員削減）が金融市場のボラティリティを高めており、経済成長への懸念が強まっています。また、コアインフレが高止まりしていることが米連邦準備制度理事会（FRB）の金融緩和ペースを鈍化させると予想しています。足元の社債スプレッドはわずかに拡大しただけで、依然として歴史的に狭いままで。これは、市場がまだ企業収益や米国の経済成長の減速懸念に対してそこまで悲観的でないことを示していると考えています。また、魅力的な利回り水準から、2025年も投資家は債券の保有を増やし続けると予想しています。社債市場の需給要因では、2025年はおよそ9,000億ドルに相当する満期償還が予定されているため、例年に比べてネットでの発行が減少し、社債価格のプラス要因になる可能性があります。このような局面では、優良銘柄に着目しつつ、綿密なリサーチに基づいた業種および銘柄選択に収益の源泉があると考えています。今後も長期的な見通しに立って慎重にセクターおよび銘柄を選択し、運用を継続してまいります。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

お知らせ

2023年11月の「投資信託及び投資法人に関する法律（以下「投信法」といいます。）」の一部改正に伴い、2025年4月1日付で「運用報告書に記載すべき事項の提供」にかかる条文を「運用状況に係る情報の提供」に変更するため信託約款に所要の変更を行いました。

2023年11月の「投信法」の一部改正により、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2016年5月10日設定）
運用方針	主として、米ドル建ての債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・ＵＳインベストメント・グレード・ボンド・ファンドクラス」 ^{JDM} (hedged)の投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月21日（休業日の場合は翌営業日） (年2回決算型) 原則として毎年4月21日および10月21日（休業日の場合は翌営業日） 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

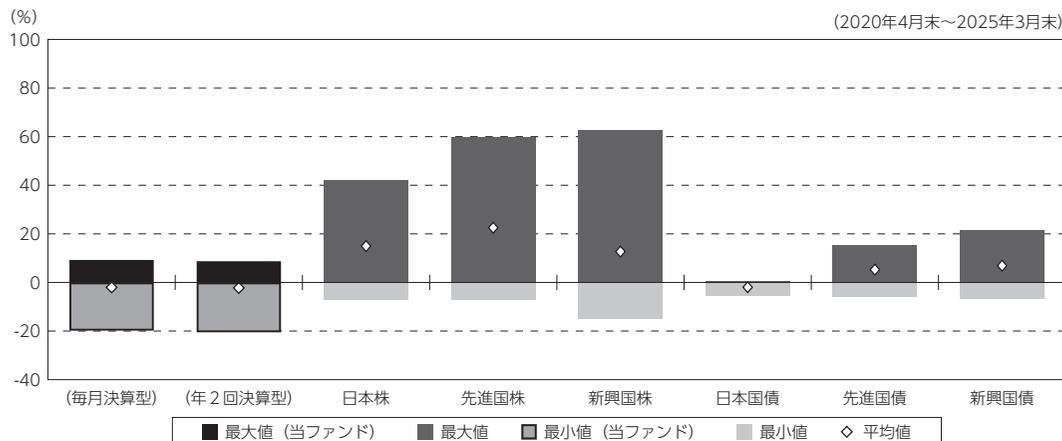
指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」のベンチマーク（ICE BofA 国債インデックス（1－10年債））について

ICEの指数データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（以下「ICE Data」）及び／またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	(毎月決算型)	(年2回決算型)	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	9.3	8.7	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 19.8	△ 20.5	△ 7.1	△ 7.4	△ 15.2	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	△ 2.0	△ 2.2	14.9	22.5	12.7	△ 2.0	5.3	6.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年4月から2025年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

(毎月決算型)

当ファンドの組入資産の内容

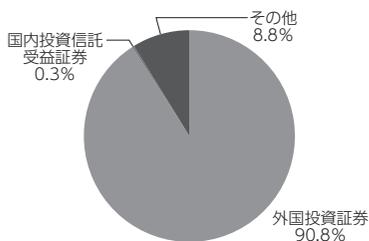
○組入上位ファンド

銘柄名	第107期末 %
イーストスプリング・インベストメンツ・USインベストメント・グレート・ボンド・ファンド・クラスJ(JDM)(hedged)	90.8
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	0.3
組入銘柄数	2銘柄

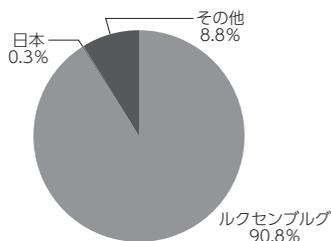
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

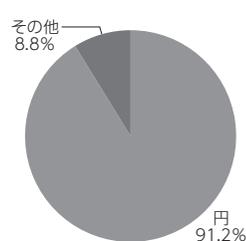
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
	2024年11月21日	2024年12月23日	2025年1月21日	2025年2月21日	2025年3月21日	2025年4月21日
純資産総額	65,432,676円	73,941,017円	73,504,362円	74,884,478円	75,674,906円	70,926,512円
受益権総口数	76,847,108口	87,575,997口	87,652,667口	88,900,736口	89,028,931口	84,974,173口
1万口当たり基準価額	8,515円	8,443円	8,386円	8,423円	8,500円	8,347円

(注) 当作成期間(第102期~第107期)中における追加設定元本額は15,740,499円、同解約元本額は196,546,164円です。

ファンドデータ

(年2回決算型)

当ファンドの組入資産の内容

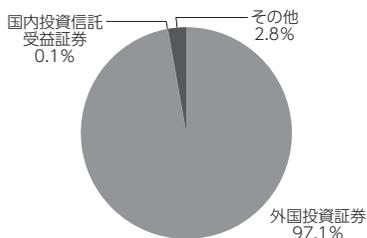
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第18期末 %
イーストスプリング・インベストメンツ・USインベストメント・グレート・ボンド・ファンド・クラスJ・DM(hedged)	97.1
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	0.1
組入銘柄数	2銘柄

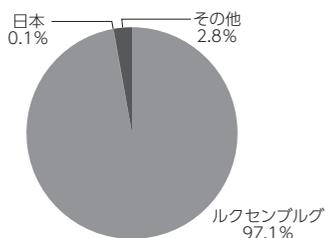
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

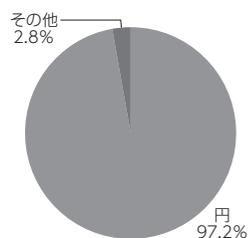
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

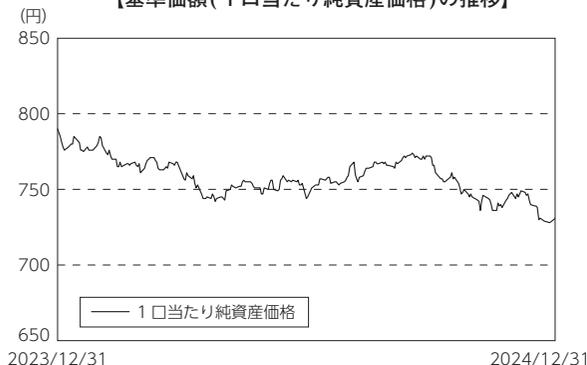
項 目	第18期末
	2025年4月21日
純資産総額	15,508,146,047円
受益権総口数	16,879,817,402口
1万口当たり基準価額	9,187円

(注) 当期中における追加設定元本額は4,139,484,532円、同解約元本額は862,523,866円です。

組入上位ファンドの概要

イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラスJ JDM (hedged)

【基準価額(1口当たり純資産価格)の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月1日～2024年12月31日)

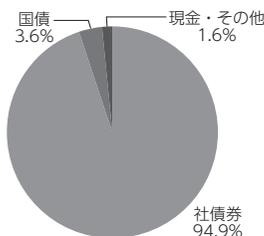
当該期間のAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

【組入上位10銘柄】

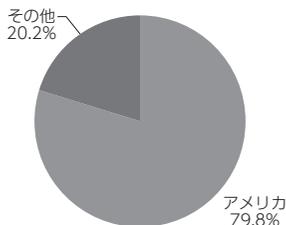
(2024年12月31日現在)

	銘柄名	業種	利率	償還日	国・地域	比率
1	米国債	国債	3.750%	2026/8/31	アメリカ	1.9%
2	米国債	国債	2.875%	2025/5/31	アメリカ	1.0%
3	コアブリッジ・グローバル・ファンディング	保険	4.650%	2027/8/20	アメリカ	0.8%
4	ウエイスト・マネジメント	サービス	4.800%	2032/3/15	アメリカ	0.7%
5	JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	銀行	5.534%	2045/11/29	アメリカ	0.7%
6	AT&T	通信	2.250%	2032/2/1	アメリカ	0.7%
7	クエスト・ダイアグノスティクス	ヘルスケア	4.625%	2029/12/15	アメリカ	0.7%
8	ゴールドマン・サックス・グループ	金融	5.561%	2045/11/19	アメリカ	0.6%
9	ドイツ復興金融公庫	政府保証債	5.000%	2026/3/16	ドイツ	0.6%
10	モルガン・スタンレー	金融	5.164%	2029/4/20	アメリカ	0.6%
組入銘柄数		451銘柄				

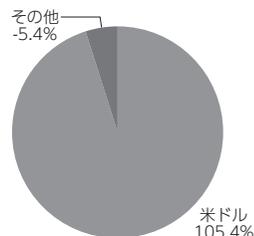
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



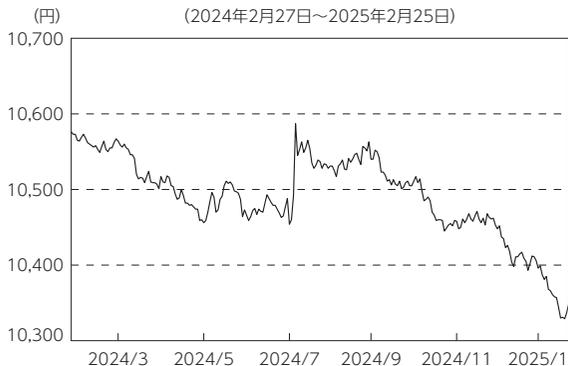
(注) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの (監査済みおよび同時点の関連データを含む) を使用しています。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) でご覧いただけます。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】



【1万円当たりの費用明細】

(2024年2月27日～2025年2月25日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	23 (15) (2) (6)	0.219 (0.143) (0.022) (0.055)
(b) その他の費用 (監査費用)	1 (1)	0.013 (0.013)
合計	24	0.232

期中の平均基準価額は、10,493円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2025年2月25日現在)

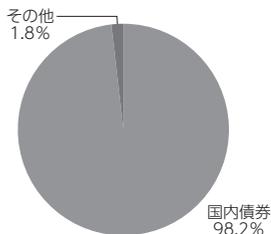
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 第359回利付国債(10年)	国債	円	日本	21.9%
2 第91回利付国債(20年)	国債	円	日本	18.2%
3 第117回利付国債(20年)	国債	円	日本	11.7%
4 第14回利付国債(30年)	国債	円	日本	9.5%
5 第351回利付国債(10年)	国債	円	日本	7.7%
6 第354回利付国債(10年)	国債	円	日本	7.5%
7 第87回利付国債(20年)	国債	円	日本	7.4%
8 第13回利付国債(30年)	国債	円	日本	5.9%
9 第80回利付国債(20年)	国債	円	日本	5.7%
10 第75回利付国債(20年)	国債	円	日本	2.6%
組入銘柄数		10銘柄		

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

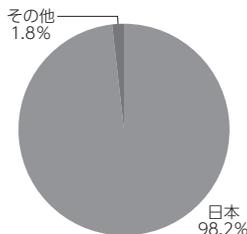
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

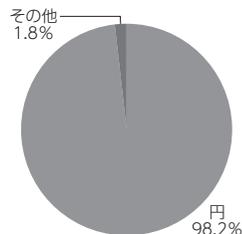
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社の知的財産です。

○MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。